

6 月度理事会議事録 (2022 年 6 月 14 日 (火) 開催)

1. 会長報告 (5 月 10 日 (火) ~6 月 13 日 (月) 出席案件)

- ・5 月 10 日 (火) 日本人会・理事会 (本館)
- ・5 月 20 日 (金) タイ日野販売・創立 60 周年記念祝賀会 (ICON SIAM)
- ・5 月 23 日 (月) バンコクシティバレエ平田様面談 (本館)
- ・5 月 30 日 (月) BBS 渋谷様面談 (NPD オフィス)
- ・6 月 10 日 (金) 日本人会・企画推進部会及び三役会 (本館)

2. 新監事承認

- ・井原大輔氏 (Mizuho Bank Ltd.)
→異議なく承認された。

3. 一般報告

(1) 5 月度個人会員動向

入会者 225 名 退会 151 名 現会員数 4,681 名 (内、準会員 41 名 会友会員 209 名)
(前年同月 5,425 名・前年同月比 86.2%)

(2) 5 月度賛助会員

〈入会 2 社〉

- ・The Sukhothai Bangkok (ホテル業)
- ・Star Home Co., Ltd. (サヴォイレストラン)

〈退会 5 社〉

- ・Tokin Electronics(Thailand) Co., Ltd.
- ・Tohoku Solutions Co., Ltd.
- ・Arcelik Hitachi Home Appliances(Thailand) Ltd.
- ・Arcelik Hitachi Home Appliances Sales(Thailand) Ltd.
- ・Tensui(Thailand) Co., Ltd.

現会員数 516 社 (前年同月 544 社・前年同月比 94.9%)

(3) 会員優待店

【新規加盟】

- ・田丸屋 Tamaruya

【脱退】

- ・P. Tailor (閉店のため)

- ・現在の有効店数 66 店舗

(4) 5 月度会館来訪者数

本館：150 名 (実数 104 名)

別館：1,962 名 (実数 661 名)

合計：2,112 名 (実数 765 名)

(前年同月 186 名 (実数 103 名) 前年同月比 1135.5% (742.7%))

【昨年度の開館状況】

・2021 年 4 月 26 日 (月) ~10 月 24 日 (日) まで、会議室での同好会・サークル活動を禁止。7 月 12 日 (火) より、事務局の時短運営 (9 時~15 時・土曜日休館)。7 月 20 日 (火) ~8 月 31 日 (火) は全ての会館サービスを休止。9 月 2 日 (木) より本館・別館ともに窓口業務を一部再開、10 月 1 日

(金) より一般図書館を再開、10月25日(月) より会議室の貸出再開。

(5) 会館貸出サービス

- ・5～7月の法人利用を紹介した。

(6) 寄付・寄贈報告

- ・本の寄贈
瀬畑啓子様、苅部俊雄様、佐藤慎一郎様その他1名様より、計150冊寄贈頂いた。

(7) 5月度会計報告

- ・5月度収入は、319万バーツ、(前年同月 234万バーツ 前年同月比136.4%)
- ・5月度支出は、148万バーツ、(前年同月 205万バーツ 前年同月比72.3%)
- ・単月収支は、170万バーツ(前年同月 28万バーツ 差額 142万バーツ)
- ・累計収支は、256万バーツ(前年同月 130万バーツ 差額 126万バーツ)

(8) その他報告(事務局)

- ・6月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

4. 後援名義・ロゴ使用申請(事務局)

対象事業名：バンコクシティバレエ September Classical Ballet Performance 2022

- ・開催日：2022年9月21日(水)・22日(木)
- ・主催：バンコクシティバレエ
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力
→異議なく承認された。

対象事業名：White Canvas Thailand 2022

- ・開催日：2022年7月1日(金)～2023年3月31日(金)
- ・主催：Palette Artspace
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力
→異議なく承認された。

対象事業名：「流行りの乳幼児教育法モンテッソーリとも違う『見守る保育 藤森メソッド』とは」

- ・開催日：2022年7月15日(金)
- ・主催：HOIKU株式会社
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力
→異議なく承認された。

対象事業名：Sop Moei Arts 応援チャリティーコンサート No.2

- ・開催日：2022年9月9日(金)13日(火)
- ・主催：Sop Moei Arts
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力
→異議なく承認された。

5. 準会員申請

Miss Penpicha Kijpanich 1名より準会員申請があり承認された。

6. 会報部・広報部の統合について

会報部の役割はクルンテープ誌の作成、広報部の役割はホームページその他媒体にて日本人会の活動を紹介するものであったが、近い将来に紙媒体を廃止する予定であること、統合によって予算・作業の両面での効率化に繋がることから、会報部と広報部を統合して会報・広報部としたい。

会報・広報部規定

第1条 名称 当部はタイ国日本人会会報広報部と称する

第2条 部の運営 部長は理事中より会長がこれを委嘱する。部の運営は、部長・副部長が行い、事務局は部を補佐する。検討事項によっては、部長の判断より外部からも有識者の出席を求める事ができる。

第3条 部の役割 (1) 日本人会及び会員の広報活動全般を行う。(2) 会報「クルンテープ」を作成、配信する。(3) 日本人会のホームページ・SNSの作成、管理、運営、配信を行う。

第4条 会報「クルンテープ」 (1) クルンテープ誌の作成にあたっては、適宜、編集委員会を開催する。(2) 編集委員長は、日本人会理事及びオブザーバーの中から会長が任命する。(3) 編集委員会は、会報・広報部長（編集委員長も兼務可能）と編集委員よりなる。(4) 編集委員は、日本人会 会員の中より広く各方面から編集に関心のある人を編集委員長が任命する。

第5条 予算 部の運営に必要な費用は、理事会に申請をし、承認を得るものとする。
(2022年6月14日)

→異議なく承認された。

7. 日本博での盆踊り・協賛募集の件

・9月3日（土）に日本博内で主催する盆踊りについて、13～15時の間のプログラムを確認した。また、8月16日（火）理事会にて、盆踊りの練習を行うこととした。

・日本博参加にあたり、およそB35,000の諸経費がかかる見込みのため、収支均衡とするために協賛を募りたい。1社あたりB10,000の協賛で500本の団扇を作成、20社の協賛を目指す旨を報告するとともに、理事会社へ協賛をお願いした。

→協賛を募ることについては異議なく承認されたが、作成予定の団扇サイズが小さいという意見があり、通常の団扇サイズでの作成費用について再度見積もりを依頼することとした。

8. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

(1) 事業部（日高理事（日高洋行））

・内堀堂守の5月の活動を報告。

ワットリアップの活動に2回参加、納骨堂堂守としての供養・法要を3回実施、写経会を2回開催頂いた。その他、5月3日（火）にはドラマ撮影協力、10日（火）は立正佼成会訪問、14日（土）は納骨堂にて大学生の真言宗勉強会を行った。

・納骨堂本尊釈迦如来像の修復に関して

修復の依頼をしている「東京藝術大学大学院美術研究科」の岡田先生より、事前の下見調査（2名/2泊3日）について、613,591円かかる見積りを頂いた。3月の理事会で報告したとおり納骨堂キャンナブリ基金から支出することとする。また、修復費用は、現地で作業する場合が2,260,038円、日本の研究室に移送して作業した場合が2,621,969円かかる見積もりを頂いているが、事前の下見調査の結果次第で金額も変わってくる可能性があるため、下見調査の結果を踏まえ検討していきたい。

(2) 青少年部 (日高理事 (日高洋行))

- ・5月の通常活動の報告を行った。
- ・学校施設での活動再開を望む声があることを報告した。
→ (バンコク日本人学校・谷口校長) ひとクラスの人数 (25名) を超える活動は難しい。来週からようやく学校でも水泳の授業を再開するが、教育省や保健所の厳しいルールに従う必要があるため、水泳サークルの利用は厳しいかもしれない。

(3) 婦人部 (竹井理事)

- ・5月24日 (火) にオンラインにて『お顔のたるみしわを引き締め、最高笑顔で印象美人』を開催した。講師は小笠原真由美氏。申込み59名に対して当日は45名が参加、17名のアンケート回答があり、「先生のポジティブな言葉に励まされた」など全員が満足するイベントとなった。
- ・6月21日 (火) に別館にて『ウェルカム交流会』を開催予定である。来タイ1年未満の方を対象とし、参加者には協賛企業からのお土産をお持ち帰りいただけるよう準備する。

(4) 教育部 (田中理事)

- ・2022年度第1回英検について、4級・5級は、6月4日 (土)、3級以上は、5日 (日) に一次試験を開催したことを報告した。欠席者9名のうちコロナ関連での欠席が6名あり、英検協会の特例措置にて検定料返金の対応をすることとなった。二次試験は7月3日 (日) に開催する。

(5) 会報・広報部 (富永理事)

- ・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノーラ、の4誌に掲載する広告を紹介した。ニコラボはウェブ広告のみとなっている。
- ・5月のホームページアクセス状況は、訪問数11,533、閲覧数30,583で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数68.1%、閲覧数115.4%、前月比は、訪問数120.2%、閲覧数114.3%であった。タイからの訪問数は63.5%、日本からは24.1%。前月と比較し、タイからは11.5%、日本からは7.9%増加している。日本からの閲覧は、東京、大阪、神奈川、愛知の順に訪問があった。
- ・LINEは7回の配信、登録者は前月より67名増加し、6,290名 (有効者数3,945名) 5月よりカードタイプメッセージを使用した配信方法に変更し、一度に多くのイベントリンク掲載が可能となった。
- ・Facebookは51回の投稿、2回の有料広告配信、登録者は前月より29名増の2,991名。5月26日に配信した、タイ語クラスに関する有料広告へのリーチ数が高かった。
- ・Instagramは14回の投稿、登録者は前月より17名増加し、1,303名。
- ・Twitterは14回投稿し、フォロワーは前月より35名増加の1,023名となっている。

(6) 企画推進部 (富永理事)

- ・5月19日 (木)、日本人会別館にて「はじめての英検」を開催した。講師はコミュニティ英会話の枝雄二氏。次回は、第2回英検前の9月22日 (木) に開催予定である。
- ・6月23日 (木)、JTCAとの共催で「タイの便利スマホアプリを使ってみよう第2弾」を開催する。講師は、同社のワットカナッド氏。日本人会会員は無料、未入会の方はB200の有料イベントとする。
- ・6月30日、7月7,14,21日 (全て木曜) にタイ語基礎クラスを開講する。日常会話編は10:00-11:30、ビジネス編は19:00-20:30で、講座委託はJTCA Co., Ltd.。日常会話編には定員を大幅に超える申し込みがあったため、7月5,12,19,26日の火曜クラスも設け、計3講座45名の受講となった。
- ・今後のイベントとして、7月1,8,15,22,29日 (全て金曜) に開講予定の日本語基礎クラス (講座委託はOJSAT) と、7月5日 (火) にサミティベート病院と共催予定の『タイで健康に暮らすには』を紹介した。

(7) 食堂運営委員会（石井理事）

- ・ 食堂売上 5 月は、911,005B（前年対比 424.7%）であった。タイ人顧客は 2,631 名、邦人顧客は 427 名、総顧客数 3,058 名、会員利用者延べ人数は 104 名、実数 44 名であった。
- ・ 日本人会の会員増強策として、タイ人向けの食堂優待カードの発行や、優待割引率の引き上げも検討したい。

(8) 在タイ日本国大使館（新保領事部長）

- ・ 日タイ修好 135 周年を記念したロゴをリリースした旨の報告があった。
- ・ 政治集会が増えていることから、警戒を促された。
- ・ コロナ禍に続いていた日本への入国規制が緩和され、タイ人の団体観光が可能となったとの案内があった。
- ・ 第 26 回参議院議員通常選挙について、6 月 23 日（木）から在外公館投票が開始される旨の案内があった。
- ・ 現役世代の単身男性の突然死が目立っているとの報告があった。

(9) バンコク日本人学校（谷口校長）

- ・ 3 年ぶりに 1 学期からの登校が叶い、全校朝会、生徒総会、体力テスト、2 年ぶりに健康診断を行うことができ学校らしい雰囲気を感じられるようになった。コロナ禍でオンライン授業が続いたことにより、勉強の仕方や人の意見を聞く姿勢に関して、影響が出ているように感じられる部分がある。
- ・ 一旦減った新型コロナウイルスの感染だが、また小学低学年での感染者が増えている。

(10) 運動部（事務局）

- ・ 7 月 2 日（土）に開幕する第 45 回ソフトボール大会に関して、5 月 17 日（火）に準備委員会議、5 月 24 日（火）に監督会議を開催したことを報告した。また、監督会議の中でトロフィー返還を行った。

9. 5 月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

10. 理事会出席者（敬称略、順不同）

・ 島田会長、荻原、日時本、田中、日高（丸紅）各副会長、豊田、太田、小田原、日高（日高洋行）、吉田、安江、竹井、富永、堀尾、神原、石井、各理事、井原監事、新保大使館代表、谷口バンコク日本人学校校長、栗山国際交流基金所長、石川 JETRO（日本貿易振興機構）代表、事務局（村上・安達・松田）